

化学物質を取り扱う

みなさまへ



ラベルでアクション

運動実施中

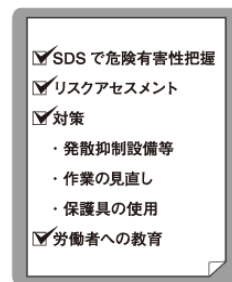
GHSラベルから危険性・有害性を知り、化学品から身を守ろう！



製品が来る



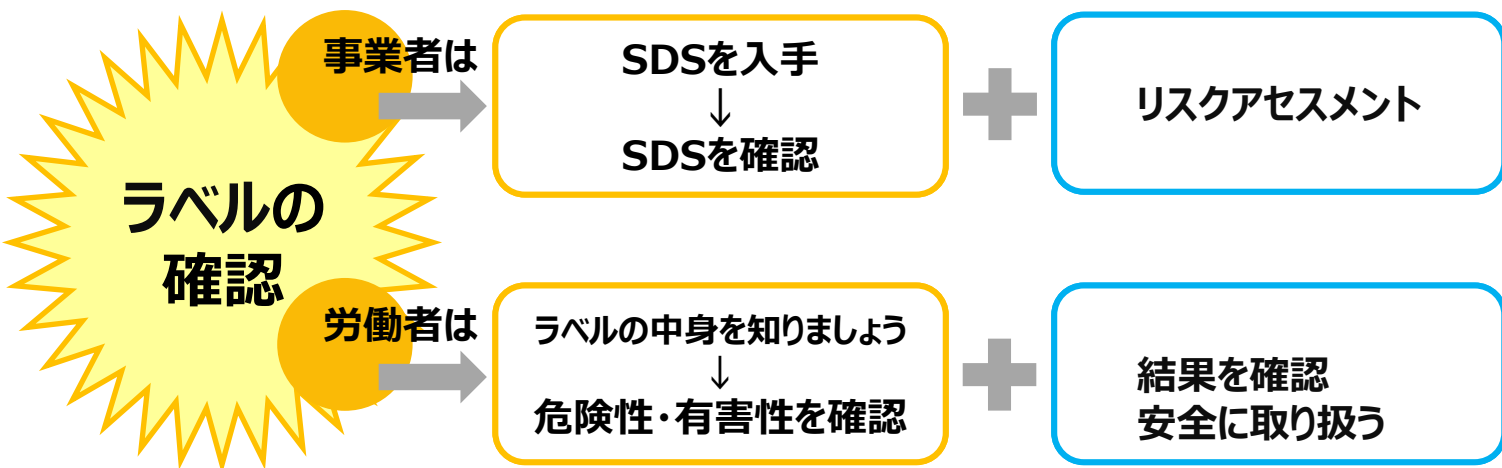
ラベルを見る



アクション

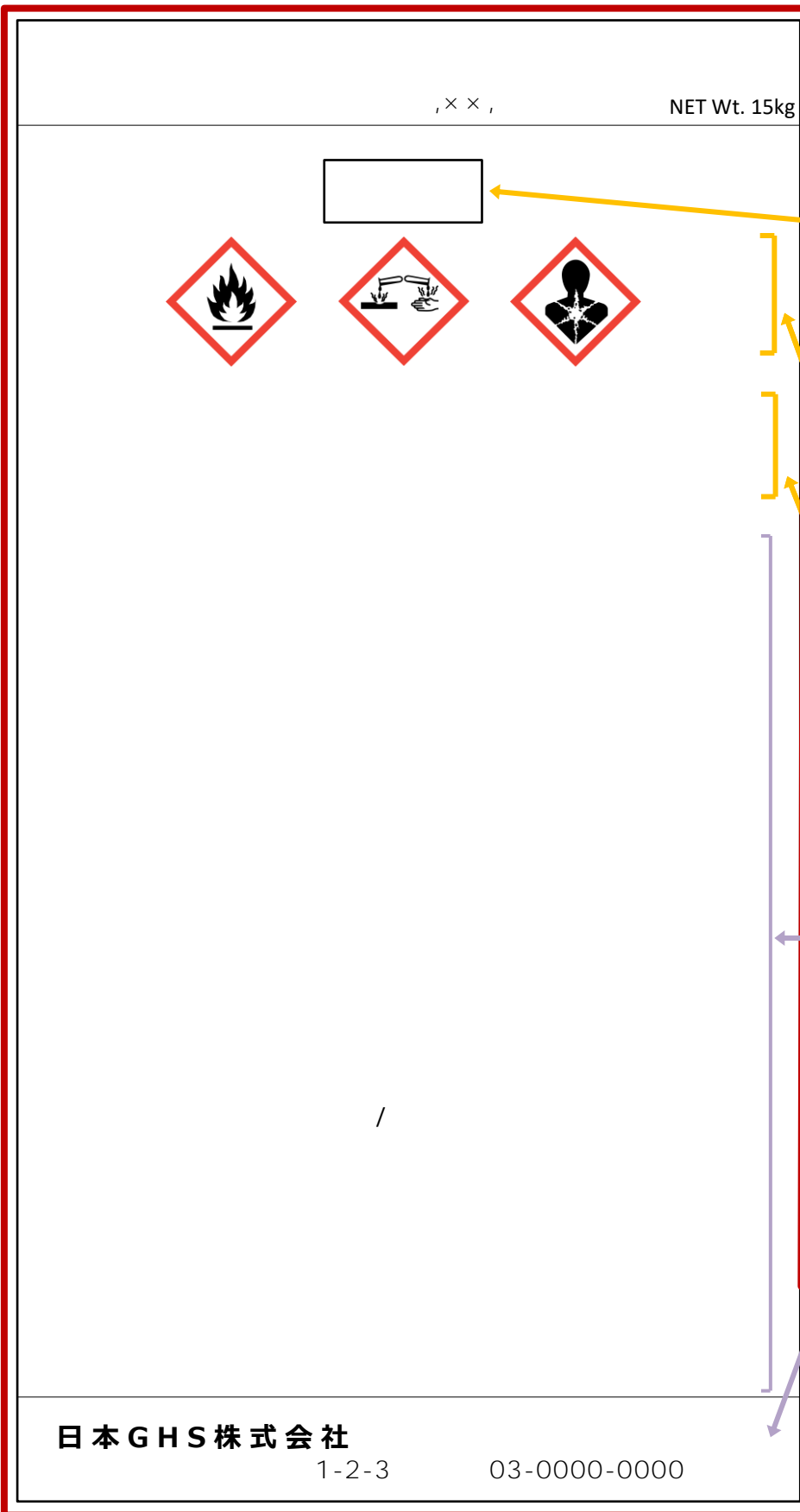
今すぐ安全対策

ラベルを確認して行動することで、事故を防ぐことができます。



事業者は、リスクアセスメントを行いましょう。

GHS対応ラベルの記載項目



製品特定名

①注意喚起語

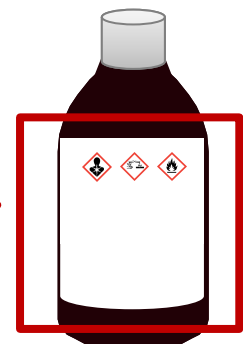
2

②絵表示

③危険性・有害性情報

注意書き

供給者の特定



◆ラベル・SDS作成の方法は以下を参照◆

- ・ JIS Z 7252 (GHS分類) ・ JIS Z 7253 (情報提供-ラベル・SDS)

<https://www.jisc.go.jp/>

- ・ 事業者向けGHS分類ガイダンス

https://www.meti.go.jp/policy/chemical_management/int/ghs_tool_01GHSmanual.html










- ・ 職場のあんぜんサイト「GHSモデルラベル、モデルSDS」

https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pg/GHS_MSD_FND.aspx

- ・ 製品評価技術基盤機構(nite)「化学物質総合情報提供システム(CHRIP)」

https://www.nite.go.jp/chem/chrip/chrip_search/systemTop

絵表示の意味する危険性・有害性

	絵表示	代表的な危険性・有害性	代表的な注意事項の例
危険性			
			
			
			
			
健康有害性			
			
			
			
環境有害性			

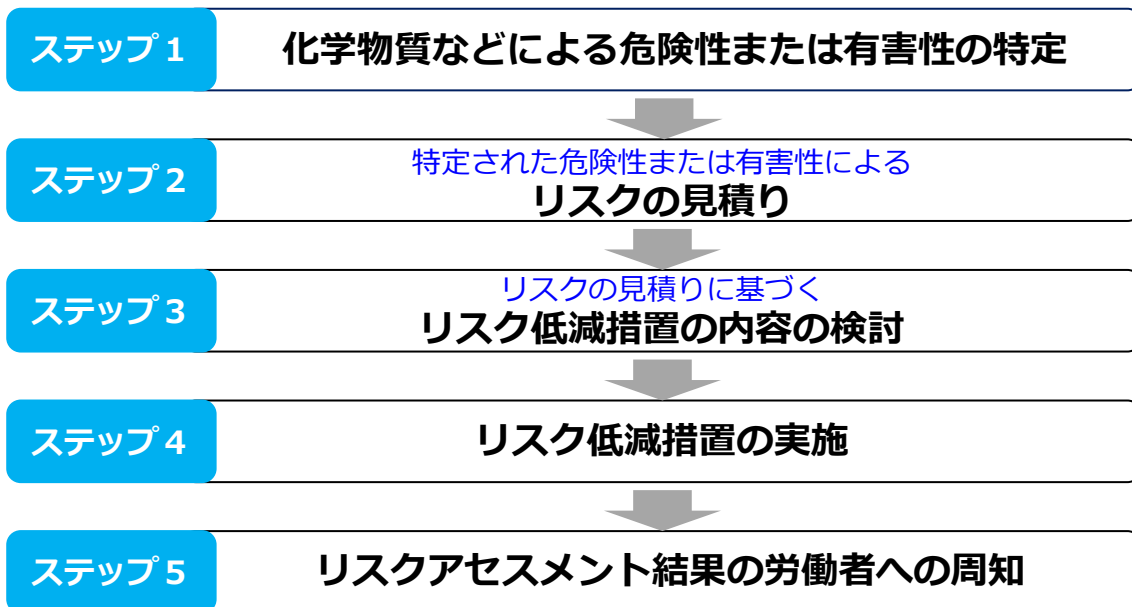
化学物質のリスクアセスメントの実施

職場で取り扱われる化学物質等の危険性や有害性を確認し、それによる働く人への危険や健康障害を生じるおそのれの程度を見積もり、リスクの低減対策を検討します。

リスクアセスメントの手順



ラベルに絵表示があったら・・・



リスクアセスメントの実施方法については「職場の安全サイト」
<https://anzeninfo.mhlw.go.jp/user/anzen/kag/ankgc07.htm>でご確認ください。

「ラベルでアクション」の進め方等のご相談は下記までご遠慮なく！

1. 法令、通知に関する相談窓口

都道府県労働局または労働基準監督署の健康主務課

所在案内

<https://www.mhlw.go.jp/kouseiroudoushou/shozaiannai/roudoukyoku/>

2. 支援事業

相談窓口（コールセンター）を設置し、電話やメールなどで相談を受付

ラベルやSDSの記載内容の理解やこれを活用したリスクアセスメントの方法について、事業場の皆様からのご質問にお答えしています。

050-5577-4862

受付時間：月～金10:00～17:00（12:00～13:00を除く）※土日祝日、年末年始を除く

「ラベル・SDS活用事業」受託者

テクノヒル株式会社

東京都中央区日本橋蛸殻町2-5-3 サンホリベビル 4F

TEL:050-5577-4862

メール：soudan@technohill.co.jp